

中津川市  
博物館  
だより

# 恵那山

2022  
Vol.23, No.

4



「中山道分間延絵図 第十卷/内七」落合宿（部分）  
（東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives）

企画展

## 幕末明治の医学と中津川 ～馬島靖庵が見た医学の夜明け～

会期：令和4年10月4日(火)～令和5年4月2日(日)

会場：中山道歴史資料館 第1展示室

## 鉱物博物館

第28回企画展 **長島鉱物コレクション展—蛭川郷土館標本受入20年（仮）** 3月18日（土）から

鉱物博物館収蔵資料の中核をなす「長島鉱物コレクション」は、当初、中津川市・旧蛭川村・岐阜県立中津高等学校の3カ所に分割して寄贈されましたが、現在はそのすべてを鉱物博物館に収蔵しています。旧蛭川村が受贈し、紅岩山荘敷地内に開設した蛭川郷土館「長島鉱物コレクション陳列所」で展示していた標本を、2002年に鉱物博物館が受け入れてから20年となるのを機に、旧蛭川村標本を中心に常時展示していないコレクションを展示・紹介します。

- 会 期 / 3月18日（土）～6月4日（日）
- 会 場 / 鉱物博物館 企画展示室
- 休館日 / 毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）



長島鉱物コレクション陳列所（蛭川郷土館）  
岐阜県中津川市蛭川  
昭和42（1967）年8月撮影  
左の二人が寄贈者・長島乙吉氏夫妻、  
右の二人は益富壽之助博士夫妻  
蛭川郷土館は取り壊されて、現在は無い



ペグマタイト中のチンワルド雲母  
灰色板状に見える結晶がチンワルド雲母  
岐阜県中津川市蛭川（田原）  
標本左右約4.5cm [EA66NC0767]



蛍石  
岐阜県中津川市蛭川（和田） 恵比寿鉱山  
標本左右約7cm [EA66NC0779]

(大林)

## 中山道歴史資料館

企画展 **幕末明治の医学と中津川 ～馬島靖庵が見た医学の夜明け～** 4月2日（日）まで

第8代将軍徳川吉宗（1716-1745）の時代には、多くの改革が行われました。享保4（1719）年には西洋書籍の輸入が一部解禁となり、オランダを通じてヨーロッパの文化・学問が入ってくるようになりました。そして、いわゆる「蘭学」が盛んになっていきました。

宝暦5（1754）年頃になると、江戸幕府は人体腑分け（解剖）を行うようになります。この時立ち会ったのが、幕府の医官だった山脇東洋でした。東洋は、日本古来の五臓六腑図と西洋の解剖図に多くの相違点があることに疑問を持っており、人体腑分け（解剖）に立ち会うことで、その疑問点を確かめる目的もありました。

この東洋の行動をきっかけに日本各地で解剖見学が行われるようになり、蘭学医であった杉田玄白や蘭学者前野良沢らも見学をしました。偶然にも二人そろって、ドイツ人医師が書いた解剖書のオランダ語訳書『ターセルアナトミア』を持っており、その解剖図の正確さに驚き、本文の翻訳を始めました。平賀源内（学者）、小野田直武（絵師）、腑分け技能者、知識人など多くの協力者を得て、苦労の末、翻訳から3年後の安永3（1771）年に『解体新書』として出版しました。杉田玄白は出版に先立ち、世間の漢方医から非難を浴びないようにと、幕府へ事前の献本（今風のロビー活動&ネゴシエーション）を行いました。そのようにして幕府の暗黙の了解を得ておくという、周到な準備があったともいわれています。この和製『解体新書』こそが、今日までの日本医療技術史を塗り替え、世界に誇れる「医療技術力」を生み出した書といえることができます。

- 会 期 / 令和4年10月4日（火）～令和5年4月2日（日）
- 会 場 / 中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日 / 毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）
- 入館無料日 / 1月10日（火）・2月5日（日）・3月5日（日）



『解体新書』

(伊藤)

## 苗木遠山史料館

### 江戸時代料理復元シリーズ26 大名婚儀の料理展 3月4日(土)から

文化8(1811)年、11代藩主遠山友寿とちひさの婚儀が行われました。奥方になられるのは旗本岡部外記の娘でした。婚儀の料理は、初献・二献・三献でお色直し、それから本膳・二御膳・三御膳・天倪御膳部へと続きました。

藩主婚儀の料理は、遠山家としては最高のものだったでしょう。その料理を再現します。

- 会 期／3月4日(土)～3月12日(日)
- 会 場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)



(小林)

## 東山魁夷心の旅路館

### 第Ⅳ期展 光彩—生命の輝き

1月6日(金)から

彩り豊かな輝きを放ちながら過ぎて行く秋に、荘重で華麗な生命の燃焼を見出した魁夷。色彩が失われてゆく冬の訪れを前にしてのはかなくも力強い作品の数々をご堪能ください。

- 会 期／1月6日(金)～3月21日(火・祝)
- 会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日(詳しくは8ページをご参照ください)



京の秋(木版画)



しゅうよう  
秋耀(木版画)



こうこん  
光昏(カラーコロタイプ) (入曾)

## 熊谷樞つけちギャラリー

### 第Ⅲ期展 「生」とは何か—安江静二展

3月19日(日)まで

安江静二は独学で洋画を学び、絵の道をひたむきに歩んだ画家です。

肢体不自由による困難な生活、また偏見による精神的苦痛を体験してきた静二は、「生」や「永遠」について自問自答し、その想いを絵に表現してきました。

今回の展示では、「安江静二心の記念館」所蔵作品を中心として、観る人に、郷愁や不屈の心を抱かせる絵ばかりではなく、暖かさや喜びが感じられる作品を展示します。

- 会 期／令和4年12月2日(金)～令和5年3月19日(日)
- 会 場／熊谷樞つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／1月8日(日)



大地



横丁

(入曾)

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催し・予定が変更・中止になる場合があります。  
最新情報は各館にお問い合わせください。  
中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。  
※右のQRコードを読みとると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイトQRコード

### 苗木遠山史料館

#### 金曜講座 史料館調査報告

史料館文書でわかった内容を紹介します。

- 講師：調査員 千早保之

開催日	第5回 1/20(金) 第6回 3/17(金) 奇数月第三金曜日(隔月)		
時間	13:30~15:30	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

#### 古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解説しながら、みんなで学びます。

- 担当：調査員 加藤宣義、千早保之

開催日	第10回 1/28(土) 第11回 2/25(土) 第12回 3/25(土) 毎月第四土曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	年間1,000円
申込	開催日まで随時受付、先着順、途中の回からの参加可		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典		

### 中山道歴史資料館

#### 文学講座 島崎藤村文学

馬籠出身の文豪・島崎藤村の生涯と作品を学びます。

- 講師：館長 西村友孝

開催日	第10回 1/18(水) 第11回 2/15(水) 第12回 3/15(水) 毎月第三水曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

#### 古文書講座 江戸幕末より明治の歴史を史料にみる

江戸時代より明治初期の歴史を、中津川の人々の活躍も含めながら史料によってひもときます。

- 講師：仁科吉介

開催日	A班 毎月第二水曜日 第10回 2/8(水) 第11回 3/8(水)		
開催日	B班 毎月第四水曜日 第9回 1/25(水) 第10回 2/22(水) 第11回 3/22(水)		
時間	13:30~14:30	対象	一般
定員	各班14名	費用	1回 250円
時間	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

### 子ども科学館

#### ペットボトルと光ファイバーで幻想的なアート作品をつくろう

ペットボトルと光ファイバーを使って、幻想的なアート作品をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
1/21(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	900円	職員	締切 1/13



ペットボトルと光ファイバーで幻想的なアート作品をつくろう

## ✂ エアーマグセルカーをつくろう

塩水で走るミニカーをつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
2/11 (土・祝)	9:30~11:30	小学生以上	8名	700円	職員	締切 2/3



エアーマグセルカーをつくろう

## ✂ カミナリセンサーをつくろう

カミナリが近づくと赤いLEDが光るセンサーをつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
3/11(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	300円	桃井制次さん 田口 静さん	締切 3/3

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。(不在の場合は、次の方が当選になることもあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

## 鉱物博物館

## ✂ 古代人のアクセサリ「まが玉」をつくろう

滑石というやわらかい石で「まが玉」をつくります。まが玉についてのミニ学習もあります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
2/19(日)	10:00~12:00	小学生以上	6名	500円	職員	1/20~2/3 抽選	小3以下は保護者同伴で 持物:古タオル・エプロン

## 🌿 はじめのいっぽ・にほ・散歩

親子で自然を楽しみながら、早春の夜明けの森をおさんぽします。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
3/5(日)	10:00~12:00	幼児~ 小学校低学 年の親子	10組	一組 300円	原 令子さん 他	2/4~2/19 抽選	

## ✂ ちっちゃな鉱物を標本にしよう

小さな鉱物でも立派な標本になります。  
鉱物について学びながら、マイクロマウントとよばれる鉱物標本をつくりましょう。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込	その他
3/26(日)	10:00~12:00	小4以上	6名	400円	職員	2/24~3/10 抽選	小3以下は保護者同伴で



古代人のアクセサリ「まが玉」をつくろう



はじめのいっぽ・にほ・散歩



ちっちゃな鉱物を標本にしよう



「子ども達が自らの才能に気づける場所」というコンセプトを掲げる参加型オンラインスクール【こどハピ】で、鉱物博物館から子ども向け鉱物入門編のオンライン講座を配信します。

## 『地球はミネラルでできている』(仮)

開催日時: 2/11(土・祝) 15:00~15:45 対象: 小学生 費用: 無料

申込先: こどハピ <https://kodohapi.com/>

詳しくは上記申込先サイトをご覧ください。



鉱物博物館

世界鉱物年にちなんで新鉱物の話

年が明けて2023年ですが、2022年は「世界鉱物年」(Year of Mineralogy) でした。「でした」と書きましたが、2022年6月30日～2023年6月30日の1年間なので、実はまだ世界鉱物年です。

2022年が、近代鉱物学と結晶学の父とされるフランスの鉱物学者ルネ＝ジュスト・アウイ (René Just Haüy : 1743～1822) の没後200年にあたることから、国連総会で決定された「持続可能な発展のための国際基礎科学年2022 (IYBSSD2022)」の一環として、国際鉱物学連合 (IMA) が中心となって、私たちの日常生活における鉱物の重要性について人々の認識を高める活動が世界各地で行われています。

そこで、今回は中津川市で発見された新鉱物を紹介します。中津川市内で発見された新鉱物は2種あり、いずれも蛭川田原地区のペグマタイト (巨晶花崗岩) から見つかっています。



世界鉱物年の公式ロゴマーク

ところで、新鉱物というのは新種の鉱物のことですが、鉱物が何種あるかご存知ですか。生物であれば、学名が付けられた動物は約154万種<sup>†</sup>あるそうですが、鉱物種の数はそのに比べるとはるかに少なく、約5,800種 (2022年11月現在 : 5,830種<sup>‡</sup>) です。このうち日本で発見された新鉱物は、2021年4月現在で146種 (松原, 2022) となっています。

松原 聡 (2022) 新鉱物・日本新産鉱物. 地学雑誌, 131(2), 147-161.

<sup>†</sup> [https://www.kochi-u.ac.jp/w3museum/Fish\\_Labo/Member/Endoh/animal\\_taxonomy/species\\_diversity.html](https://www.kochi-u.ac.jp/w3museum/Fish_Labo/Member/Endoh/animal_taxonomy/species_diversity.html)

遠藤広光 (2022/10/02) 種多様性について. 高知大学理工学部生物科学科海洋生物学研究室

<sup>‡</sup> <https://ruffinfo/ima/>  
IMA Database of Mineral Properties



プロト鉄直閃石  
 $\square\text{Fe}_2\text{Fe}_5\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$   
岐阜県中津川市蛭川 (田原)  
標本左右約6cm [EB06050001]  
円内は赤矢印部の拡大 : 写真直径約5mm



セリウムヒンガン石  
 $\text{BeCe}(\text{SiO}_4)(\text{OH})$   
岐阜県中津川市蛭川 (田原)  
結晶長さ約1.8mm [EB06020001]

(大林)

東山魁夷心の旅路館

「落柿舎」

京都のもつ日本的なものの良さに憧憬を抱いていた東山魁夷は、古都の急激な変化を憂う川端康成からの「京都を描くなら、今のうちです」という勧めもあり、1966年に京都の四季おりおりの変化を捉えた「京洛四季」の連作を残しています。その連作を描くにあたり、数年にわたって京都取材したスケッチのうちのひとつが今回紹介する「落柿舎」です。

落柿舎とは、京都市左京区の嵯峨野にあり、江戸時代の俳人向井去来が庵を結んだ場所です。去来が著した『落柿舎ノ記』によれば、この庵の周囲にあった40本程の柿の木が、一夜のうちにすべて落ちつくしたことが落柿舎の名前の由来になったとされています。

魁夷の作品「落柿舎」は、茅葺屋根と黄土色の土壁の落ち着いた佇まいの本庵の正面が切り取られて描かれ、主人の在庵を暗示しているのか、壁の中央には箕の笠がかかっています。壁には、すでに実の落ち切った柿の木の影が遠慮がちに映り込み、屋根と地面には葉が散り落ちて、季節が冬へと向かいつつあることを

告げています。この落柿舎は、今も保存・公開されており、門をくぐると右手に受付、正面に本庵があります。その向かいには樹齢300年の柿の木が今も空高く枝を伸ばしています。魁夷は、実際に夕暮れ時にここを訪れており、夕陽に照らされて柿の木の影が映りこんだ落柿舎を見て絵の構想を思いついたと想定されます。「私の願いは、京都にできるだけ京都の良さを残してほしいと思うことである。」という魁夷の言葉にもあるように、落柿舎が後世に継承されていくようにとの願いも込められているように感じます。



落柿舎

(入曾)

## 木曾の渡し

昔の木曾川は、川原は砂石だらけで川幅も狭く、今よりはるかに急流だったようです。

苗木藩では木曾川の渡し用に上地に2艘の船（2人から6人の船頭）を備え、中津川から木曾川を越し、苗木城下を経て高山に至るまでの交通（飛騨街道）の便を図りました。

しかし、大雨が降り木曾川が増水すると、激流で船を出せなくなります。藩主遠山友寿の日記を見ると、その大変さがよくわかります。

大名が1年おきに勤める参勤交代は、苗木では7泊8日で江戸に着くことが決まっています。その間1日40kmを8日間歩き続ける強行軍でした。

ところが、苗木を出発する時に大雨が降ると、予定通り船が出せず、水流が少し治まるまで足止めを食らいます。1例を見てみましょう。

今から200年程前、文政10（1827）年の参勤は3月25日が出発予定でしたが、雨で増水し、急な流れで渡船出来ませんでした。その後好天になりましたが水位が下がらず、30日になんとか渡船しようとしてますが、馬舟は出せないということでした。そしてまた大雨になり、4月5日になってようやく無理に出発し、

木曾川を渡りました。

3月24日の日記には、「この間中の出水にて明日は馬舟が立たぬ旨船頭からあった。明日の発駕（出発）は延引。日限は追って・・・」、25日には「上地川（木曾川）出水の趣だから明後27日に鵜飼舟を立てるとのこと」とあり、長期戦に入ったことがわかります。

日記からは、木曾川を渡るまでの11日間の心労が読み取れます。7泊の宿（本陣）への連絡調整は、参勤の時期が集中しており、他の大名の予定をにらみながらの工面は、さぞ大変だったろうと同情します。



文政10年3月24日の遠山友寿の日記  
「出水ニテ今朝ノ雨ニ不拘、明日ハ馬舟不立旨船頭ヨリ注進有之」

（千早）

## 中山道歴史資料館

### 論語集註

この書の原典は『論語』です。『論語』は、古代中国の思想家・孔子の死後、その弟子たちが孔子と弟子たちとの会話などを集め記録したものです。その根幹をなすのは人間の生き方・政治に関する考え方などで、全20編（約13,000字）です。『論語』を読むための注釈を、後の多くの学識者が補足しています。この『論語集註』は南宋の儒学者朱熹による注釈書です。朱熹は四書といわれている『大学』・『中庸』・『論語』・『孟子』のそれぞれに注釈をつけました。

馬島靖庵は、江戸で多くの教育者に使用されていた『論語集註』を、この山深い木曾・南信の地で子弟たちのために活用していました。当時としては時代の先端を走る英才教育で、余白部にある靖庵直筆の解釈文などから、子弟育成への情熱が読み取れます。

写真右の見開きページは、『論語』の最初の編（章）「学而」です。「学問をすること・身につけていくこと」は無上のよるこびで、次第に同志ができ、見ず知らずの同志たちが集まってくる。こんな楽しいことはない。人に認められようが認められまいが、そんなことに気かけずに勉強をつづける。そんな一節

が記されています。靖庵は子弟たちがこの「学而」をどのように理解するかを考え、将来彼らが地域のリーダーとなった時にまで思いを馳せながら、教授に情熱を注いでいたのでしょう。

靖庵は『論語集註』の他に『論語詳説』なども講義書として使用していましたが、それらの各ページにもびっしりと注記が記されています。記入する余白がなくなった場合は、書き足した別の紙が貼付されています。事前の教材研究に余念がなかったことが伺える貴重な資料です。



『論語集註』（左） 『論語』（右）

（伊藤）

入館無料デーを開催しました

中津川市の博物館6館（鉱物博物館、子ども科学館、苗木遠山史料館、中山道歴史資料館、東山魁夷心の旅路館、熊谷榎つけちギャラリー）では、11月3日（文化の日）に館内を無料開放しました。

子ども科学館では、午前中にミニ科学工作まつりを開催し、工作コーナーや「太陽望遠鏡による太陽観察」などを楽しんでいただきました。お子さんには、職員手作りのおみやげをプレゼントしました。



太陽望遠鏡による太陽観察  
(子ども科学館)

鉱物博物館では、砂の中から水晶をさがす「ストーンハンティング」や、天然石でつくる「手づくりアクセサリー」などのコーナーを設け、多くの方に参加いただきました。



ストーンハンティング  
(鉱物博物館)

苗木遠山史料館、中山道歴史資料館では「クイズラリー」を開催し、東山魁夷心の旅路館では、先着30名様にポスターをプレゼントしました。



秋のクイズラリー  
(中山道歴史資料館)

お天気にも恵まれ、たくさんの方にご来館いただきました。



鉱物博物館

夜明けの森きらめきパーク案内図がリニューアルしました

鉱物博物館近くに設置されている「夜明けの森きらめきパーク案内図」が、リニューアルしました。

新たに描かれたのは、地元苗木中学校の生徒によるデザインの中から、鉱物博物館友の会によって選ばれたデザインです。案内板を取り外し、表面を削り下地を塗ってから、新しい地図やイラストが描かれました。

7月上旬から案内図の下書きや着色が中学校で行われ、生徒のみなさんが、休み時間や夏休み期間などを利用して、ボランティアで作業に参加してくれました。



その後、案内板を博物館に運び、仕上げのニスを塗って完成しました。

10月には除幕式が行われ、リニューアルした案内図が披露目されました。



協力してくださった苗木中学校のみなさん、友の会のみなさん、ありがとうございました。

寄贈を受けました 2022年9月～11月受贈分

鉱物博物館 花岡ふさえ様 図書10点  
藤原 勝様 鉱物標本一式  
柳原 國良様 図書3点  
ありがとうございました。

休館日

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10*	11*	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

熊谷榎つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館

□ 東山魁夷心の旅路館休館日 ■ その他4館の休館日 \*中山道歴史資料館は1月10日(火)開館、1月11日(水)休館

\*年末年始休館日のお知らせ 12月25日(日)から1月5日(木)まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク  
中津川市鉱物博物館

〒508-0101 中津川市苗木639番地の15  
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分  
FAX 0573-67-2191

☎ 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム  
中津川市子ども科学館

〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1  
JR中津川駅から徒歩約20分  
FAX 0573-66-9171

☎ 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場  
中津川市苗木遠山史料館

〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2  
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分  
FAX 0573-66-9290

☎ 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅

中津川市中山道歴史資料館

〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号  
JR中津川駅から徒歩約10分  
FAX 0573-66-7021

☎ 0573-66-6888 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木曾谷に抱かれた美術館

中津川市東山魁夷心の旅路館

〒508-0501 中津川市山口1番地15  
中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣内」  
FAX 0573-75-5225

☎ 0573-75-5222 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館

熊谷榎つけちギャラリー

〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52  
(アートピア付知交芸プラザ内)  
中央自動車道「中津川IC」から車で約40分

☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>

中津川市博物館だより Vol.23, No. 4  
恵那山 2023年1月発行

編集 中津川市鉱物博物館  
〒508-0101 岐阜県中津川市苗木639-15  
TEL:0573-67-2110 / FAX:0573-67-2191